

2021.5.10発行

# 丸中建設(中)社内報

第10号

## 新しい仲間を紹介します



丸中建設へようこそ！みんなで協力してより良い企業にしましょう

### 社長のつぶやき

今年で2度目となるコロナ禍中のGW、皆さんはどう過ごしましたか？

私は毎年の事ですが「いちご園」へ。

昨年は緊急事態宣言の発令。4月いっぱいに「いちご園」を閉園しましたが、今年は人数制限をしながら営業しました。連日、制限人数MAXまでお客様に来園頂き、本当に有り難く思います。予定通り5月末に閉園し、来年度に向けた準備作業が始まります。

しかし閉園後からの準備では「実は遅い」んです、マルナカファーム（以降MF）。

多くの品種を栽培していることが売りのMF。何百種類もある品種の中から「気候・ハウス環境・作り易さ」などを考慮し品種を選定、苗を確保します。今年栽培した苗は自家繁殖し使用できます。しかし新品種全ての苗の確保は特許等により容易ではなく、各業者へ相談の上、発注し調達しています。植物の苗について「種苗法」という法律があり、様々な制約がある事を皆さん知っていますか？

実はそこに大きな問題があり、いちご栽培をする上で丸中建設とMFの「関係性」を改める必要があったのです。当初MFは、建設会社異業種参入の一子会社でした。

しかし現在、農業適格法人（農地所有適格法人）となり全くの別組織です。農業適格法人であることで、一般の農業者と同じ扱いとなり農地を買う事が出来ます！

そして何より、適格法人化が必須条件になった理由とは…。種苗法において、苗の自家繁殖を許されるのが、農家と農業適格法人に限られるという点です。農業法人のままだと、毎年苗を「購入」しなければならず、自家繁殖は違法となるのです。仮に今栽培している約2万5千本を、全て購入すれば約5,000,000円の費用がのしかかりますので、いちご栽培を諦めざるを得なかつたでしょう。そんな問題もあってか、現在「いちご」を種から栽培する動きがあります。

因みに！いちごのつぶつぶは種では無いですからね！あのつぶつぶが果実です！そして、いちごは野菜です！

来年、MFでは種から育てる品種を3種類、試験的に栽培します。建設業界も日進月歩ですが、いちご業界も負けず劣らず。MFも毎年スキルアップして行きます！

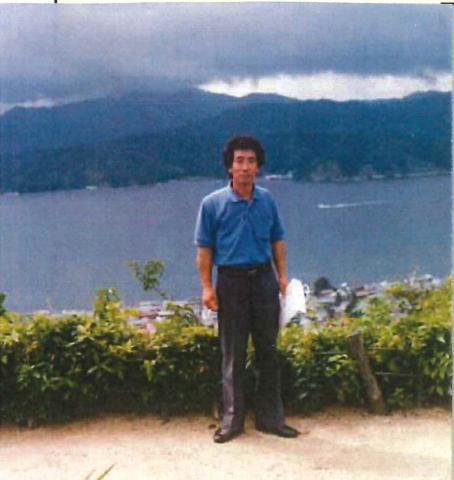
丸中建設の皆さんも、スキルアップに年齢は関係ありません。日々精進して行きましょう！

今回は、丸中建設とマルナカファームの関係性についてでした！

御礼☆いちごアイス即完売！



## 5月生まれさんを紹介します



安部 晃

年齢…六十九才  
出身地…旧・東和町  
近趣味…スポーツ観戦・読書・釣り  
況…曾孫もとてもかわいいです。  
女の子で、またなく一才五ヶ月になります。



橋本武之

年齢…六十才  
出身地…福島県  
趣味…特になし



伊藤宏太

年齢…二十四才  
出身地…本宮市  
近趣味…ドライブ  
況…三月に息子が生まれました！



服部光喜

年齢…四十五才  
出身地…安達  
趣味…ドライブ・スポーツ観戦・読書

水泳・野球・ソフトボール・スキ



大竹浩二

ゆっくり旅行したいです  
(コロナでなければ…)

年齢…五十四才  
出身地…河沼郡柳津町  
近趣味…ゴルフ・釣り・旅行



遊佐道子

70才から卓球を始め、  
今は相手に向かって  
スマーチッシュ!!  
最高のストレス解消です。

年齢…七十一才  
出身地…二本松市  
近趣味…ドライブ・旅行・ウォーキング  
卓球・野菜作り・花作り



おめでとう!